

2022 年度 高等学院同窓会学術研究奨励金
研究成果報告書概要 (WEB 公開用)

高等学院長
高等学院同窓会理事長 殿

研究代表者氏名 [鈴木 理秀]

学年・組・番号 [3 年 I 組 3 番]

研究課題: 江戸時代佐渡のキリシタン取締り方法から見る佐渡奉行の特色

(英文) Characteristics of the Sado Magistrate in terms of the Methods of Christian
Control on Sado Island during the Edo Period

研究概要:

(研究課題を選んだ動機、達成するための計画・目的・方法等について 200~400 字で記入してください)

本研究の目的は、江戸時代の天領佐渡でのキリシタン取締り政策から、佐渡一国を支配した佐渡奉行がどのような支配機構であったかを明らかにすることである。江戸時代のキリスト教徒弾圧と言え、九州や京都、江戸を中心に行われたことが一般に知られているが、史料を見ると佐渡のような一見キリスト教とは馴染みのないような場所でも「宗門人別改帳」などによる取締りが実施されていたことがわかる。本研究では、佐渡とキリスト教の関係や佐渡奉行によるキリシタン取締り政策と他地域(秋田院内銀山、美濃・尾張など)における取締りの状況とを比較し、佐渡のキリシタン政策の特殊性を明らかにする。研究の手法としては、早稲田大学図書館のほかに新潟県立図書館や佐渡市立図書館に赴き東京では手に入らない文献や史資料を収集し、また現地調査として佐渡中山峠のキリシタン殉教地や佐渡博物館などに赴き、文献以外の視点からも課題に対してアプローチをする。

研究成果:

(研究の結果概要、結果に対するフィードバックや感想等について 200~400 字で記入してください)

イエズス会報告書に関する文献調査により、江戸時代初期の佐渡は金銀山に多くキリシタンが従事していたことがわかった。このような禁教時代の鉱山にキリスト教徒が従事している事例は、佐渡だけではなく秋田仙北地方の院内銀山でも確認でき、鉱業とキリスト教の関係の深さがうかがえる。佐渡のキリシタン取締り政策の地域的特性としては、取締りの開始時期が他地域と比較すると遅いことが挙げられる。徳川家康は 1612 年に全国の天領に禁教令を下したが、佐渡での初めての本格的な弾圧・取締りの事例は、島原の乱の後の 1637 年に起こった中山峠での殉教(添付写真を参照)であり、キリシタンが多く在住していた地域と比べると遅いことがわかる。このことの原因としては、江戸時代初期の佐渡奉行の支配体制が関係している。佐渡が天領になった当初は豪商田中清六の下で金銀山経営を第一とする支配機構が確立した。それに加え、佐渡の地方支配にはそれまで佐渡を統治していた上杉氏の家臣が引き続き担当したことなどから、佐渡では寛永期まで幕府直轄地として十分な支配機構を整えておらず、統一的な宗門改の実施が難しかったのではないかと考えられる。本研究ではキリシタン取締り政策という観点から佐渡奉行の支配機構について明らかにしたが、田中清六時代の佐渡の地方支配の状況や石見銀山や秋田院内銀山などのキリシタン取締り状況について今後は検討していきたい。

研究者：(以下の、代表者・分担者は学年・組・氏名を明記する)

研究代表者 3年I組3番 鈴木 理秀

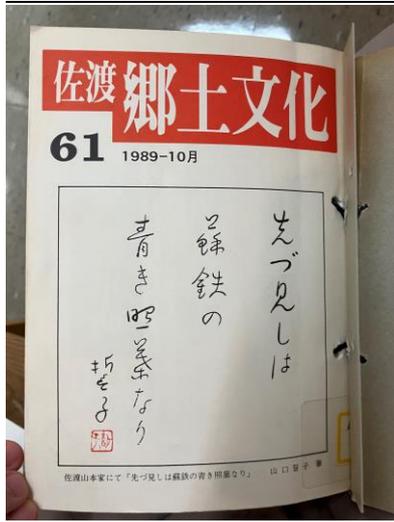
研究分担者 _____

担当教諭 柿沼 亮介 教員 (受給額：40,000円)

※研究課題、研究概要、研究成果、研究代表者名がWEB ページ上で公開されることに同意します
(次のページに続きます)

研究成果写真：

(研究過程がわかる写真や、研究結果がわかる写真などを数点貼り付けてください)



以上